

駅周辺のまちづくり、 財政問題でご意見ください

2013年度川西市一般会計予算審査から浮かび上がった問題点



補正、本予算に提示された

課題のその①

川西市都市開発株式会社へ

①5億円長期貸し付け

②地下リニューアルに対して
5億円の損失補償

③会社が立て替えている共益費の一部
を補助するのに初年度3477万円支出

④6階フロアを買い取り改修するのに
5億4000万円の支出

川西が市になったのが1954(昭和29)年、混在した住宅が建ち始めたのが1961年ごろ、北部に造成団地が建設され始め、阪急やJRの踏切で大渋滞がおき、1973(昭和48)年、「駅周辺都市整備計画基本構想」が策定され、線路の高架化やパーティ、アステビルなど、駅前の再開発事業が進められました。

中でもパーティについて手掛けたアステビルでは、地権者などの管理組合がビル管理事業を、市が40%の株を保有する「川西都市開発株式会社」へ委託し今日に至っています。その会社の経営が思わしくなく市は支援するとして15年計画を、市議会へ提案してきました。

浮かび上がった問題点

①あまりにも高額である

貸し付けとか損失補償とかあとで戻ってくると約束しているお金があるとはいえ、総額で15億7000万円を超えています。財政が大変なのにこのお金をどこから引き出してくるのか。

②川西市が大株主とはいえ、民間会社にこのような形で出資していいのか

開発を市がリードしてやったから、市が株主だからというのが出資の理由ですが、地権者も合意の上で開発を進めてきた。経済が右肩上がりの時はそれなりに利益を上げてきた。川西市は株の配当金を受け取ったことはないなど、利益を得ていたわけではないのです。

高齢者お出かけ支援事業は 2300万円、33%削除

③アステホールの買い取りは会社への支援

多機能を持った市民への貸館業務、行政サービスをすることで市民のためになる事業の展開をするとしていますが、5億4000万円もかける必要があるのでしょうか。もっと地域の公共サービスを充実させるべきです。

④高齢者へのサービスを削る

それほどの支援を民間会社へするのに、市内の高齢者へ交通補助をしている「高齢者支援事業」は削減し会社支援へ回すのです。



よし

よしの
「由さん」の 便り

2013年 3月 306号

川西市議会議員(日本共産党)

住田由之輔 すみだよしのすけ

連絡先・下加茂 1-24-23

ケイタイ 090-9283-6739